



開物成務

2024開成祭開催 校友会ブースを展開



「2024開成祭」のテーマは「GAME ON」。このテーマには「新たなチャレンジ」や各団体間での「切磋琢磨」という意味が込められています。

今年も事前予約、人数制限無しで10月26日、27日の土日の開催となりました。土日の開催の為、多くの保護者、入学希望の家族、他校の生徒達が訪れていました。

生徒達(一部の先生も)は1年前から準備してきた企画を展示や舞台でのパフォーマンスなどで発表し、各会場とも多くの人だかりがしていました。



コロナ禍で途絶えていたみこしを4年ぶりに復活させました。ファイナルでは復活に尽力してきた生徒達の熱い思いが爆発し、感動を与えていました。

衛生面の観点から、生徒達の飲食提供は行われていませんが、その代



わりに地元逗子のキッチンカー組合が飲食をそそぎの香りが漂い、どのキッチンカーも人が並び好評を得ていました。テニスコートに設置された飲食スペースも人であふれていました。



大勢の人であふれるキッチンカーと飲食スペース

校友会では開成祭に参加するにあたり、8月からPTA、賛助会、学校と協議を重ねました。その結果、海洋教育センター内の3ブロックを使用し運営を行うこととなり、昨年の実績を元に

- ・展示ブース
- ・開成グッズの販売
- ・無料で提供する喫茶の運営を行いました。

展示ブースでは会報「開物成務」のゆうゆうクロスナビに掲載した各分野で活躍するOBの紹介。クラブOB



海を眺めながめられる喫茶スペース

会の紹介では現役生徒との関わりや、周年記念に向けた取り組みを紹介。校友会が行っている生徒達へのクラブ助成実績、留学生支援、校内イベントでの表彰などを紹介しました。

また、今回初めて映像展示を行い、校友会でYouTubeにアップしている動画をプロジェクトで写し来場者の興味を引きました。

今回の開成祭の様子を紹介した動画をアップしてありますので是非、下記の二次元コードからご覧ください。

新たにクレジットカードを利用できるようにした結果、利便性が上がり購入者が増えた要因になりました。今後もキャッシュレス決済に対応したグッズ販売を行います。

喫茶の運営では賛助会に全面的に協力をいただき、大勢の来場者に対してコーヒーやジュース、お菓子の提供を頂きました。本当にありがとうございます。

天気にも恵まれ、逗子開成の受験を考える子と

開成グッズの販売ブースでは、創立120周年記念に合わせて作成したトレーナー、Tシャツや「葉山げんべい」とのコラボビーチサンダル、開成祭に向けて作成したボールペンとトートバッグ、定番の商品等を販売しました。



家族が多く来場していましたが、逗子開成をアピールする一助となったと自負しています。

来年は新たな開成祭への関り方をするようになり3年目となります。より一層、校友会を知ってもらえるような企画と運営を行ってまいりますのでご期待ください。

逗子開成校友会ちゃんねる

<https://www.youtube.com/@zkaisei>

YouTube

チャンネル登録をお願いします
* 生徒支援につながります



賑わいを見せるグッズ販売ブース

発行責任者
逗子開成学園校友会
〒249-8510
逗子市新宿 2-5-1
逗子開成学園内
TEL.046(871)2062
<https://z-kaisei.org/>
E-mail:info@z-kaisei.org

題字・逗子開成学園
元理事長 徳間康快氏

「開物成務」の由来
人間性を開拓・啓発し、
人としての務めをなす

新年を迎えて



逗子開成学園校友会会長

葉袋 純二

(高29回)

校友のみなさま、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は校友会活動にご理解とご支援賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年は昭和100年、第二次世界大戦終結80年、帝国主義体制から国民民主権の民主主義体制となり、この大きな変遷をくぐり抜けて来た我

が逗子開成にとりましてもまさに節目の年であると思います。世界的パンデミックが明け、日常生活は戻りましたが、国際情勢の複雑化、経済的課題の山積、地球的規模の気候変動など我々を取り巻く環境はいくつもの課題を抱えております。このような環境下、母校逗子開成学園は、新たなスクールポリシーを設定し校名の由来である「開物成務(物事

の理を開き示し、天下の務めを達成する)」を実践し、社会のリーダーとなる有為の人財輩出をさらに高め、次の創立130年(2033年)への発展に向け歩み続けております。

校友会におきましても、会報の刷新、校友会ホームページのリニューアル、Youtubeによる校友の周知など、校友のみならず現役生徒の活躍の紹介を行っております。

また、PTA、賛助会との連携など関係を深め、ステークホルダーの一員として学校と共に発展を目指し、かつ校友の親睦を深めながら、地区会、クラブOB会、同期会、ビジネス交流など相互の交流を深めて参ります。

本年も、皆さまのますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

校友会令和7年度総会日程のご案内

逗子開成学園校友会、令和7年度総会の日程をご案内します。
日時：令和7年6月14日 土曜日

場所： 総会 徳間記念ホール 午後2時から 懇親会 海洋教育センター 午後4時から

コロナ禍以降、世の中

2024パリオリピック セーリング競技報告

逗子開成学園教諭(ヨット部顧問) 内田 伸一 (高41回)



この度2024パリオリピックに競技役員として参加させていただきましたので、この場をお借りしてご報告させていただきます。日本人が競技役員として海外のオリピックに派遣されるのは日本セーリング史上初めてのことです。人種や

大会開催地のマルセイユはパリの南約700kmに位置し鉄道で3時間、飛行機で約1時間の距離があります。近郊を含めた人口は176万人でフランス第2の規模を持つ商業都市です。地中海に面しているため中東やアフリカ方面への航路も開

かれています。街を行きかう人々を観察していると人種、文化、宗教について大きな影響を受けていることが伺えます。



私の業務内容はレース全般の進行を監督、助言するITOという立場です。世界中から12名の役員が集まり、現地のフランス人と協力してレース運営に当たります。私はオーストラリア人(リーダア人)、メキシコ人とチームを組ん

で、男女一人乗り種目のレースを担当しました。私がセーリング競技に出会ったのは38年前に本校の高校ヨット部に入ったことがきっかけです。以来セーリングにおいて「自分なりの開物成務とは何か」を探求することがライフワークになっていきます。こうした考えが持てるようになったのも、逗子開成に学んだおかげです。

120年を越える本校の歩みには海、山の遭難など悲しい歴史も存在します。その中であって、今日も海洋教育を含めた様々な活動に邁進する姿勢は「進取の精神」の現れであり、何事にも挑戦する気概を鍛えていただいたように思います。オリピックに限らず

国際的な舞台には政治的な駆け引きや、企業の利害、複雑な人間関係も相応に存在していますが、今後日本の若者が世界の中で立派な立場を築いていくためには、このような部分をも乗り越えて堂々と渡り合っていく必要があります。未知の世界に臆することなく、信念をもって物事に取り組む若者を育てていきたいと思えます。

結びになりますが、本大会への派遣にあたり、校内各部署において様々な配慮を頂きましたことを御礼申し上げます。ありがとうございました。

→後列右端が筆者

→令和6年度総会の様子



川崎横浜会主催 ビジネス懇親会を開催

川崎・横浜会主催のビジネス懇親会を11月15日(金)午後7時より横浜煌蘭にて行いました。本会は、校友の交流がビジネスシーンでも活性化することを狙い、また若手のアイデア×ベテランの人脈などにより新たな反応が起こり今後の活躍につながることを目的として計画致しました。

今回は、校友会として初めての企画・取組みであり「ビジネス懇親会・準備委員会」という位置付けでのスタートではありましたが、校友の皆様、学園関係者様、合計19名のご参加を頂き開催致しました。

会場は2台の円卓を囲んだ立食とし、参加者が動きやすくコミュニケーション取りやすい形式に致しました。物部龍太さん(高67回)に乾杯の発声を頂き懇親会はスタート、参加者はまずは近くの方々と名刺交換、会の進行と共に会場内を移動し、それぞれが多くの方と名刺交換や懇談する姿



が見られました。実は職場が近隣だった、関係する職種であったことなどの発見、驚きから一気に距離感も縮まり、関係が深まる会話なども聞かえてきました。

参加者皆様の自己紹介タイムも設け、それぞれの仕事や近況をご紹介頂きましたが、熱い思いは仕事の紹介だけでは足りず、学生時代の思い出や学園・校友会に対する気持ちを多くの方が語っていました。逗子開成学園を基軸としたつながりの強さや想いを感じる事ができました。時間の経過も忘れる盛況の中、野間優祐さん(高55回)より締めめの挨拶を頂き、中井和久さん(高39回)のリードにより校歌斉唱、本会を締めくくりました。

今回は初の試みの為、後もビジネス懇親会を企画して参ります。



村瀬 泰彦 (高45回)

第16回校友会ゴルフ大会開催

10月23日(水) 例年通り葉山国際カンツリー倶楽部エメラルドコースにて開催しました。参加者は24名となり、過去最少の参加者でした。

当日の天気予想ではプレー中は何とか競技可能な状況と判断していましたが、予想より早めの降雨となり、それもかなり激しいものとなり皆さんを非常に苦しめました。

この条件下での優勝者はグロス95、ネット69・8で高16回鈴木勝久さんです。またこの条件下でもハーフスコア40をたたき出す高11回と高13回の方々がおりましたことは驚異的でした。

当日の賞品は全て校友会グッズとし、高11回斎藤章さんと、同じく鈴木正祐さんのご寄付は順位賞に、参加賞には横須賀会長の網倉大介さんから洋菓子セットを提供して頂き、参加者全員に賞品が行き渡りました。

さて、今回の大会に関する特徴を報告させて頂きます。前述しましたように、今回の参加者は24名で、昨年の大会より15名減少しています。前年の15大会の報告でも述べましたが、コロナ禍があつたとはいえコロナ前に比べ参加者は2分の1となり、今後の運営に大きな問題を残すこととなりました。

加した子どもたちはポニーに乗りたりして遊ぶことが出来る果樹園です。それでもバーベキューは屋根のあるぶどうハウスの中なので、雨でも大丈夫。果樹園で準備した食材に加え、事前にスーパーで購入した食材を加え、飲んで、食べて楽しみました。

最後に「寄付を頂いた母理事長目黒泉様、前校友会会長後藤寿一様及び前述の方々に厚く御礼を申し上げます。校友会ゴルフ部会 榎引 信明(高17回)

湘南会主催イベント、バーベキューと季節の果物もぎ取りを10月5日(土)に、藤沢市遠藤の弁慶果樹園で開催しました。

当日は、朝からあいにくの雨模様で、晴れていれば一緒に参

りました。即効的な有効解決策は思い当たりません。昨年

から現役世代10人近い参加者を得ていますが、これからは校友会ホームページや会報『開物成務』及び直接の声掛けで、幅広い年齢層の増加を図るとともに、現役世代の校友が参加しやすい環境作りの検討も進めたいと考えております。尚、2025年度も10月の平日に葉山国際カンツリー倶楽部で第17回大会を開催予定です。この記事を読まれた方でご興味のある方はゴルフ部会長の榎引信明 nobuaki.kushidiki@kairosei.org または090-4668-0177までご連絡ください。



最後に「寄付を頂いた母理事長目黒泉様、前校友会会長後藤寿一様及び前述の方々に厚く御礼を申し上げます。校友会ゴルフ部会 榎引 信明(高17回)

穫時期でもあり、ぶどうハウスの屋根まで届く農機に乗って、ぶどうの収穫も楽しむことができました。

湘南会では、これからも楽しんでいただけたいイベントを企画していきます。

で、皆さんの参加をお待ちしています。

湘南会会長 柴田 一男(高21回)



校友会クラブ助成 2024年度(9月30日まで)

期間	クラブ	大会/会場	助成金額
1 2024/6/14~17	高校陸上部	関東高等学校陸上競技大会	20,000円
		駒沢オリンピック公園 選手1名 補助1名	
2 2024/6/7~10	高校ヨット部	関東高等学校ヨット大会 男子コンバインド・男子420級	20,000円
		茨城県土浦市 ラクスマリーナ 選手8名	
3 2024/7/20~22	高校水泳部	関東高等学校水泳競技大会	20,000円
4 2024/8/21~24	高校水泳部 添田重樹	第10回ジュニアパンパシフィック選手権	30,000円
		オーストラリア・キャンベラ	
5 2024/8/11~16	高校ヨット部	全国高校総体ヨット競技	30,000円
		和歌山セーリングセンター 選手8名	
6 2024/7/27~28	中学ヨット部	全国中学校ヨット選手権大会	30,000円
		高松市 せとうちサステイナブルヨットハーバー	
			150,000円

令和6年
八方尾根慰霊登山

今から遡ること44年の1980年末の夕方に、大変ショッキングなニュースが日本中を駆け巡りました。翌日の新聞の1面トップ記事で、当校登山部の遭難が大きく報道

まで、殆ど母校の行事には関わっておりませんでした。その年に還暦を迎えるというところもあり、思い切つて出席したことを思い出します。今期の慰霊登山は、8月1日から3日の3日間で行われました。

校友会会長の葉袋さん、大須賀さん、宇野さん、山本(以上高29回)、矢込さん、佐藤さん(高41回)の7名です。8月1日午後長野県白馬村へ到着し、八方ヶ

校友会海外留学生支援 2024年度留学生一覧

期間	クラス	留学先	支援金額
1 2024 4/26~7/7	短期 高1A	ニュージーランド	20,000円
2 2024 4/26~7/7	短期 高1A	ニュージーランド	20,000円
3 2024 4/26~7/7	短期 高1G	ニュージーランド	20,000円
4 2024 4/26~7/7	短期 高1G	ニュージーランド	20,000円
5 2024 8月出発	長期 高1A	カナダ	30,000円
6 2024 8月出発	長期 高1A	アメリカ	30,000円
7 2024 8月出発	長期 高1C	カナダ	30,000円
8 2024 8月出発	長期 高1D	カナダ	30,000円
9 2024 8月出発	長期 高1E	イタリア	30,000円
10 2024 7月出発	長期 高1F	アメリカ	30,000円
11 2024 7月出発	長期 高1G	カナダ	30,000円
			計 290,000円

ご挨拶。次にご遺体発見後にいるとお世話になった長谷寺へご挨拶。お寺では御仏殿にあげていただき、お亡くなりになった方々のお参りをさせていただきます。その後、ご遺体収容後に保管、検査等が行われた白馬山岳遭難対策センターの前に立つ「山に眠る人々」の石碑を訪れお参りをいたしました。

8月2日は朝8時にホテルを出発し、ゴンドラとリフトを乗り継ぎ八方池山荘まで上がり、登山口に入り開成ケルンを経由して八方池までの行程です。行程は岩が剥き出しの歩きづらい登山道で、開成ケルンまでは1時間弱、さらに30分弱で八方池に到着します。

追記
今回の慰霊登山に参加されました高41回の佐藤武晴さんが、10月30日に急逝されました。私が彼と話をしようになったのはこの慰霊登山からでした。職業柄か、彼は常に冷静で、何事にも努力を惜しまないという人柄でした。これからの校友会を支えてくれる方だと感じていた矢先のこと

八方池から八方池山荘まで戻り下山し、遭難の翌年の5月にご遺体が見つけられた川の下流で、再びお亡くなりになった6名に黙祷を捧げ



この遭難事故を風化させることが無いよう、この慰霊登山を今後も継続し、私自身も都合がつけ限り、また歩ける限り参加させていただきます。2025年は

山本 隆(高29回)

校友会への 賛助金の御礼

令和6年度の賛助金のお
願いに対して多くの皆さま
からご賛同をいただきました。

昨年11月末までの集計
で、184名の皆さまから
総額79万円余りのご協力を
いただき、感謝し厚く御礼
申し上げます。

お預かりした賛助金は逗
子開成で学ぶ生徒への支援
に有効に活用いたします。
6ページに示したクラブ活
動助成、海外留学支援の他
にも卒業生、入学生への記
念品の贈呈。学内の各種大
会やコンテストへの記念品
の贈呈など様々な行事に役
立っています。

なお、ゆうちょ銀行払込
票にお名前掲載「可」とさ
れた方、会費ペイにより払
い込まれた会員の皆さまの
お名前を掲載しました。

お名前の掲載を希望され
なかつた方については、卒
業期別に匿名としていま
す。

旧制中学41期
(1946年3月)

品川 和司

高校2回(1950年3月)

大塚 一志

匿名11名

高校3回(1951年3月)

岡崎 壽

匿名2名

高校4回(1952年3月)

小倉 重一

匿名1名

高校5回(1953年3月)

匿名2名

高校6回(1954年3月)

我妻 定則

安藤 眞弘

片岡 喜光

高橋 誠

満尾 貞孝

匿名1名

高校7回(1955年3月)

浅野 敏明

島倉 國雄

匿名2名

高校8回(1956年3月)

匿名1名

高校9回(1957年3月)

片倉 博

河野征一郎

高校10回(1958年3月)

金杉 穰

斎藤 友一

田中 貞雄

廣木 忠厚

匿名1名

高校11回(1959年3月)

鈴木 邦昭

渡辺 直

匿名2名

高校12回(1960年3月)

渡邊 忠貴

匿名2名

高校13回(1961年3月)

石川 康雄

太田 光治

匿名4名

高校14回(1962年3月)

鈴木 良久

藤井 勲

高校15回(1963年3月)

大村 忠行

八巻 丈和

匿名2名

高校16回(1964年3月)

石川 芳彦

大須賀利治

鈴木 克幸

中村 仁

米山 満也

匿名3名

高校17回(1965年3月)

荒居 達雄

志村 政俊

匿名5名

高校18回(1966年3月)

北村 吉之

斉藤 務

鈴木 邦夫

鈴木 浩一

福井 宏

藤根 博

匿名7名

高校19回(1967年3月)

後藤 寿一

斉藤 一雄

永井 涉

原田 正幸

比佐 茂

早乙女節夫

匿名4名

高校20回(1968年3月)

江川 貢

匿名2名

高校21回(1969年3月)

飯島 茂材

岩堀 恭一

斉藤 善孝

柴田 一男

田中 文隆

徳増 勲

能勢 哲己

畑野 英司

匿名4名

高校22回(1970年3月)

福本 藤彦

三留 寿一

匿名5名

高校23回(1971年3月)

平野 滋

湯浅 辰夫

匿名2名

高校24回(1972年3月)

白井 卓三

匿名1名

高校25回(1973年3月)

大谷 貴男

岡村 直樹

目黒 泉

匿名3名

高校26回(1974年3月)

望月 朗

匿名1名

高校27回(1975年3月)

笠原 尚

西城 達典

斎藤 毅

峠 秀隆

林 順

吉川 秀人

匿名1名

高校28回(1976年3月)

木元 正資

高校29回(1977年3月)

大須賀裕司

加賀谷 環

苅部 司

鈴木 浩

薬袋 純二

山本 隆

匿名2名

高校30回(1978年3月)

井関 直和

小川 操

匿名3名

高校31回(1979年3月)

宮本 弘美

高校32回(1980年3月)

石川 重樹

匿名1名

高校35回(1983年3月)

犬飼 洋一

黒羽 宣行

酒井 猛寿

山田 直弘

匿名1名

高校36回(1984年3月)

中込 勤

高校37回(1985年3月)

内田 淳

匿名1名

高校39回(1987年3月)

匿名1名

高校40回(1988年3月)

古橋 宏之

高校41回(1989年3月)

内田 伸一

矢村 智彦

匿名2名

高校42回(1990年3月)

森本 彰

高校43回(1991年3月)

高橋 信之

高校44回(1992年3月)

坂巻健一郎

高校45回(1993年3月)

匿名2名

高校48回(1996年3月)

石渡 哲也

高校51回(1999年3月)

匿名2名

高校53回(2001年3月)

青木 康典

高校56回(2004年3月)

花岡 祥平

匿名1名

高校60回(2008年3月)

匿名1名

高校65回(2013年3月)

岩間 和也

匿名1名

高校66回(2014年3月)

岡田 大輝

佐藤 昌平

匿名1名

高校67回(2015年3月)

匿名1名

高校68回(2016年3月)

匿名1名

高校70回(2018年3月)

下村 昂輝

高校71回(2019年3月)

匿名2名

高校72回(2020年3月)

小澤 真人

逗子開成学園賛助会

柳瀬 頼義

(敬称略)

12月以降に賛助金を払い
込みいただいた皆さまのお
名前は、今後の紙面で報告
いたしますので、引き続き
ご協力いただきましたら幸
いです。

◇
今後、賛助金をゆうちょ
銀行から払い込まれる際
は、郵便局の青い払込取扱
票をご利用いただき、次の
校友会本部口座宛にお願
いいたします。

口座記号 0028010
口座番号 75891
加入者名 逗子開成学園
校友会

また、クレジットカード、
口座振替、コンビニ決済を
利用して払込される場合
は、左の二次元コードから
お願いいたします。



